

# 新型コロナウイルスワクチン接種の説明書

※こちらの説明書を必ず読んで、よく理解したうえで、予診票を記入してください。

## ワクチンの効果と副反応

### 予防接種の効果

今回接種するワクチンは、メッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンという種類のワクチンです。ウイルスのタンパク質を作る基になる情報の一部を注射します。人の体の中で、この情報を基に、ウイルスのタンパク質の一部が作られ、それに対する抗体などができることで、ウイルスに対する免疫ができます。私たちが持つ体内の異物を攻撃する免疫の仕組みを利用して、新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

### 予防接種の副反応

- ▼注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等が現れることがあります。また、重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーが現れることもあります。なお、本ワクチンは、新しいワクチンのため、これまで明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状があった場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ▼ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
- ▼ワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

## ワクチン接種を受けることができない方

### ①明らかに発熱している方

通常、体温が 37.5℃ 以上の場合を指します。  
ただし、37.5℃ を下回る場合も平常の体温を考慮し、発熱と判断される場合はこの限りではありません。

### ②重い急性疾患にかかっている方

### ③本ワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往歴がある方

アナフィラキシーや全身の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状が、前回までの接種であった方は、同一成分を含むワクチンでの追加接種はできません。

※上記の①～③に該当しなくても医師が接種不相当と判断した場合は接種できません。



## 接種に際し、かかりつけ医(担当医師)と相談が必要な方

- ①抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方
- ②過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- ③心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ④過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑤過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ⑥本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方

### 「アナフィラキシー」とは・・・

通常、接種後 30 分以内に起こる非常にひどいアレルギー反応のことです。症状としては、発汗、顔がはれる、全身に激しいじんましん、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息苦しいなどに続いて血圧が下がっていく激しい全身反応です。

## ワクチン接種を受けた後の注意点

- ①接種後 15 分間は急な副反応が起こることがあります。医師(医療機関)とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- ②副反応の多くは 24 時間以内に出現します。特にこの間は体調に注意しましょう。
- ③入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすことはやめましょう。
- ④接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。



湘南中央病院 健康管理センター

お問い合わせTEL:0466-36-8155